

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ドレミ

## 目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 2 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	地域の行事や活動に参加出来る時は出かけているが、職員の勤務体制や利用者の体調等で上手く出来ない場合があるので、今後の課題として、地域交流の在り方を検討していく。	地域を担当する職員(地域密着委員会)を決めて、地域の行事や活動の準備段階から手伝い、反省会等にも参加して、地域から頼れる事業所として、相談し易い関係をつくり、高齢者の介護相談や独居老人の安否確認等に取り組んで、地域と信頼関係を築いていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が固定化し、会議もホームの報告が中心になっているので、議題や会議の内容を検討し、参加委員の増員を図っていく。	運営推進会議を充実させていくことがホームの発展に繋がるので、参加委員を有識者、知見者、地域で活動している方等を募り、ホームの運営だけではなく、地域の問題にも取り組み、地域の子どもや高齢者が安心して暮らせる社会づくりにも取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。